

よろこび

日蓮宗 顕聖会

本山 妙顕寺

長曾山 本興寺

『日蓮聖人との対話』八（感応対談）

貫首 齊藤 日軌

（問者）日蓮聖人様、人類国家国民の平和についてお教え頂きました。人間は個人個人で生きていくこと、お金の幸福もなかなかに達成されません。しかし個人のお金を得たいと言ふ欲求すら自分の望むように健康を維持し、良しかなかもっと基本的に大切な健康を維持し、良い家庭を作ると言うことでは、非常に難しい伴侶を得たい一人が一度も結婚経験がないという状況です。約七人の五十歳男性の約四人一人、これに對して女性は約七は24%、二十五年国勢調査では、男性の生涯未婚率は24%、女性の約四人一人、これに對して女性は約七に一人が一度も結婚経験がないという状況です。約七達成し、健康な肉体を維持し、良い伴侶を得て自らの人生をゆたかに幸福にしていけたら良いのでしょうか？

私たちは幸福になるために生まれてきたのではないのでしょうか？

（日蓮聖人）日蓮である、私は日本の民衆が安穩に暮らすことつまり幸福を達成するためにどうしたらいいかということを生涯のテーマとして、我が人生を過ごしました。しかし、自らの人生は大難四箇度小難は数知れず、多くの苦難に満ちたものであった。



しかし、あなたたちには、自分が幸福になる原理を授けよう。幸福になるためには、まず、あなたたちがこの幸福に生きるための原理、法則これをよく理解することが大事です。先ず幸福になりたかったら心を幸福にすること、日々自分は幸せだなと感じて生きなさい、そうすれば現実生活も幸福にあるのです。

（問者）そんなことで、人間は幸せになれるのでしょうか？ある程度お金があり、家もあり、仕事や家族に恵まれて、初めて幸せだなと感じられるのではないのでしょうか？

（日蓮聖人）この世の存在は全て心の世界の表れである。想いは物をつくる。心が全てを引き寄せるのである。先ず幸福な心ありて幸せな現実が顕れるのである。またカネに恵まれ、立派な家族がいても不幸な人間は、いくらかでもおること事態である。

心にあるものが物質界に現れてくる。心が現実にものを呼び寄せ心が身の回りの現実に反映し、家族の心の繁栄は家庭の繁栄となる。これが一念三千幸福の原理である。この世界は元々本仏の心に描かれた世界であるから、南無妙法蓮華經と唱えて一度本仏の心に戻り、本仏と共に南無妙法蓮華經と幸福世界を創造することがこの法則の奥義である。妙法という宇宙意識に同調するのが肝要。

日蓮聖人のお言葉

新年おめでとう
南無妙法蓮華經と唱え
心を丸く豊に幸福を感じよう
豊かな自分と身の回りを想像しよう

